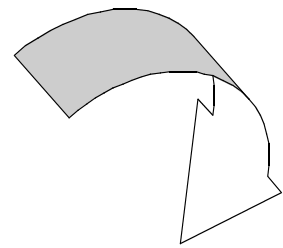


下本庄地区災害復旧工事が完了しました

国富町や綾町から、本庄川沿いに宮崎市内に向かう途中、県道沿いで堤防を作っているのはみなさんお気づきのことと思いますが、その対岸でも工事をやっていたことに、気づかれていた人もいらっしゃるのではないのでしょうか。

ここは、平成19年7月台風4号出水時に、増水した川の勢いによって本庄川の河岸がごそっと削られてしまい、このまま放置しておくとも堤防本体まで削られて、最後には堤防が壊れてしまうおそれがでていました。そのため、これ以上河岸が削られるのを防ぐために、平成19年度末から護岸根固工事を行っていたのですが、この工事が、今年の3月末で完了しました。

被災状況(河岸が削られた状態)



工事完了

工事期間中、堤防を散歩される方などには、不自由をおかけしたことをお詫びしますとともに、現在進行中の他の工事につきましても、引き続きご協力とご理解をお願い致します。



河川のこと ちょっと知りたい...

はん濫危険水位？避難判断水位？

梅雨の季節が近づいてきました。大雨が降るたびに、どれくらい川の水かさがあがっているんだろう、堤防は大丈夫かな、など、気になって川を見に行かれた経験がある人も、もしかしたらいるのでは？

河川の水かさが上がって危険な状態になると、市や町では避難勧告などが出されます。では、その勧告などが出される目安はあるのでしょうか？

本庄橋や太田原橋、入野橋の脇に、写真のような数字が書かれた板が立てられているのをご存じでしょうか。これは、水位観測所に併設して設置されているもので、河川の水位の状況に応じてはん濫の危険度をレベルであらわしたものです。



もし、「はん濫危険水位」を超えて**4 (危険)**と書かれたところまで水位が上がってしまうと、沿川の堤防が低い場所などでは水があふれて、家などが浸水し危険な状態になるおそれがあります。そこで、このような状態になる前に避難を終えられるように、避難に必要な時間を考えて「避難判断水位」を設定しており、ここを超えたらはん濫の危険度レベルが**3 (警戒)**としています。このような情報を一つの目安に、自治体では避難準備情報や避難勧告、避難指示などを出しています。なお、これら以外に、主として市や町、消防団の行動の目安として使われる**レベル1**や**レベル2 (注意)**があります。

さて、水位観測所の意味を簡単に説明しましたが、どれだけ水位が高くなっているか、**大雨の中で見に行くことは、大変危険です**。パソコンや携帯電話から、下に記載しているホームページを見ると、その時点での水位情報などが手に入りますので、気になったら、直接現場には行かないで、そちらを見てみてください。

また、宮崎河川国道事務所のホームページでは、柳瀬橋や本庄橋などの近くに設置されたカメラからの映像をリアルタイムで提供しています。そちらも見てみてくださいね。

川の防災情報 (パソコン) <http://www.river.go.jp/>
(携帯電話) <http://i.river.go.jp/>

河川に関する問い合わせ先

国土交通省宮崎河川国道事務所本庄出張所

〒880-1101 宮崎県東諸県郡国富町大字本庄5056-7

電話 0985-75-2179(土日・祝祭日及び夜間は宮崎河川国道事務所に転送されます)

宮崎河川国道事務所ホームページ <http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/>